

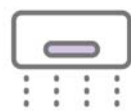
宇城市小川総合文化センター(ラポート)は 改修工事のため休館します

休館期間 令和7年2月1日^①～令和8年3月(予定)
※図書館小川分館は令和7年3月1日^①から休館

宇城市小川総合文化センター(ラポート)は平成10年の建設から26年が経過し、設備機器などの更新時期を迎えています。
これからも市民の皆さんに長く利用してもらえるよう約1年間休館し、空調設備や照明機器、防災設備などの改修を行っていきます。
期間中はご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☎ 生涯学習課 ☎ 32-1934

主な改修のポイント



快適な温度で施設を利用することができるよう、不具合が発生していた空調機器を交換します。



照明をLEDに交換することで、省エネ化・長寿命化を進めます。



安全、快適に施設を利用できるよう、エレベーターや防災設備の更新、トイレの洋式化などを行います。

改修工事スケジュール

令和7年	令和8年
2月1日	3月1日
中央公民館、 文化ホール 休館	図書館小川分館 休館
	3月(予定)まで休館
	中央公民館、文化ホールの予約再開 については、別途お知らせします。

休館中の代替施設

中央公民館 ➡ 小川防災拠点センター
河江地区コミュニティセンター

文化ホール ➡ ウイングまつばせ

図書館小川分館
➡ 不知火美術館・図書館、移動図書館
※休館中は市小川支所に図書の返却ボックスを設置します。



ふるさとの人

台湾の近代教育の先駆者

かずま
平井 数馬



芝山蔵学堂で撮影した写真
前列4人：教師(左端が平井数馬)、後列：生徒

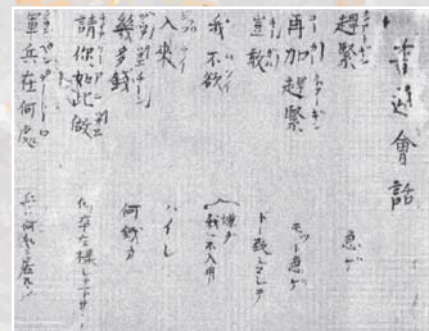
世界トップの半導体シェアを誇り、台湾を本拠地に持つ「台湾積体電路製造(TSMC)社」が、昨年2月に菊陽町で子会社「JAS M」を開所しました。
今につながる台湾の教育の源が、日清戦争後の日本の統治政策のなかでも「教育を優先すべし」と全国から6人の優秀な志ある人材を台湾に派遣し、開始された「芝山蔵教育」にあることを知る人は多くありません。
この6人を、台湾の人々は尊敬の念を込めて「六氏先生」と呼び、その中のひとりが「平井数馬」です。
数馬は、明治11年に下益城郡松橋町で生まれ、その後、熊本市水道町に移り住みました。私立中学済々黌を卒業し、明治28年(当時17歳)に台湾で通訳官教師となりました。
台湾での最初の学校「芝山蔵学堂」において授業を行ったほか、教師用・生徒用の台湾語の教科書や日台会話の教科書作成にも尽力し、台湾における最初の日台辞書の編纂者にもなりました。
ところが明治29年の元旦、台湾に渡って1年も経たないうちに、現地の抗日ゲリラにより暗殺されてしまいます。



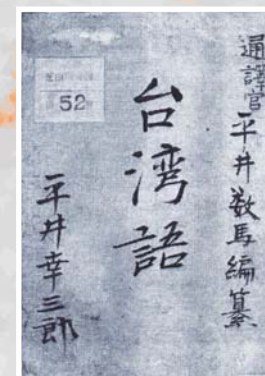
▲平井数馬先生之碑と
白濱頭彰会会長

6人の教師の死が日本に伝わり、その遺志を継承しようと全国から多くの教師が台湾に渡り、台湾全土で献身的に現地の子どもたちの教育に従事しました。
その結果、明治37年はわずか3.8%に過ぎなかった児童の就学率が、40年後の昭和19年には71%を超え、世界で最も高い就学率を達成するまでになりました。
県内各地からも数馬に続けと多くの教師が渡台し、台湾における教員のほぼ一割を熊本県出身者が占めたと言われており、台湾の近代教育の礎は、数馬をはじめとする県出身者の血と汗の努力によって築かれてきました。
現在、熊本には「平井数馬顕彰会(白濱裕会長)」が設立されており、2月1日には熊本県護国神社で没後130年の慰霊祭と講演会が執り行われます。

☎ 文化スポーツ課 ☎ 32-1954



▲数馬作成の台湾語辞書



▲芝山蔵学堂